

成果指標				
成果指標	子ども・子育て会議及び専門部会の開催状況			
指標設定の考え方	計画の策定に当たり、幼稚園・保育所・小規模保育等や地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、提供体制の確保の内容、実施時期についての意見を聞くこと及び子育て支援施策の調査審議をする必要があるため、会議開催の回数を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標28年度
目 標	5	2	2	0
実 績	3	1	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の施行に併せて、本市で初めて子育て支援をPRしていくためのフォーラムを開催した。フォーラムには多くの参加者もあり、アンケートでもさまざまな意見をいただいた。今後も子育て支援を推進していく上で本事業を継続していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	子ども・子育て支援新制度がスタートし、様々なサービスの提供が始まり、市民の子育てに対する意識も変容している。 平成27年度フォーラムを開催したが、多数の参加者があり盛り上がりが見られた。今後も子育てに対する関心度を高める意味も含め、フォーラムを継続していく必要があると思う。 これを機会に、子育て中の保護者のみでなく、地域も取り込んだ子育て支援を行いたいと考える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。
意見、課題	今後も限られた予算の範囲内ではあるが、工夫のうえ更なる事業の推進を図っていく。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ、さらに重点化すること。